

モデル事業名	こやだいら・住民まるごと地域力向上事業
活動団体名	木屋平水源の里協議会
ホームページ	
所属／ 担当者名	NPO 法人こやだいら 阿部義則 (0883-68-2305)
連絡先	0883-68-2305
活動地域	美馬市木屋平地域

### ●活動内容

#### 1 高齢者の生活支援について

- (1) 地域は、過疎化、少子高齢化が進み(高齢化率52%)、診療所・日常生活・買い物移動等の支援が必要である。運転手45名、利用件数272件、人数538人、走行距離5364.50km(H22度実績)となり、また、会員数357名(H19年度220名)に増加、地域住民の生活の1部となっている。
- (2) 一人暮らし高齢者が年々増加傾向にあり、安否確認、生活相談、防災、防犯などの支援を、見守りネットワークの組織活用の中、支援する側は手薄く、受ける側は手厚くすることで、活動の継続につながり、不安の解消や安心安全な生活が送れている。



(過疎地有償運送送迎)

#### 2 環境整備、観光

- (1) 近年、不法投棄は、県内各所で問題になっています。特にドライバーによるポイ捨、川遊び客による粗雑ゴミの置き去り等が多く地区住民は大きな迷惑を受けている。今後、地域外各種団体と連携をとりながら啓蒙活動を長期的に実施する。
- (2) 地域各所で見られていたホタルは、度重なる台風被害によりカワニナなどが埋没や流失したため、再々生に取り組んでいる。
- (3) 観光資源を、地域外の目線で新たに発掘し、地域で新たな観光スポットとして連携発信し、客足の増加を図りたい。



(見守り活動)

#### 3 農林業の再生(間伐の推進、地産地消の推進、特産品の復活)

- (1) 森林の環境整備に、間伐事業は取り組まなければならない重要課題であり、地域の雇用、交流、定住にもつながるものであります。また、間伐材の再利用、看板の増作、防護ネットの支柱などに利用促進している。
- (2) 地域の特産品として、柚子栽培を行い、有機農法を取り入れ、消費者の安全安心を基本に推進し、県外からの注文も増加している。地域の一般農家も有機栽培を行い自ら地産地消を推進している。
- (3) 中尾山高原の栗園は、樹木の再生、有機肥料、低農薬による消毒などを実施し、年々収穫量の増加と、中尾山高原施設と連携をとり、秋の栗ひらい等のイベントを行い、入り込み客の推進を図り定着している。



(特産品、栗づくり)

#### 4 地域文化振興(伝統文化の継承、イベント事業)

- (1) 伝統芸能は、地域住民が地域情勢を表し、住民が集い、共に踊り楽しむ、地域の娯楽として、また、農作物の収穫の奉納踊りの役割も含まれ、地域伝統芸能保存会が小中学生に指導継承されています。
- (2) 地域イベント事業として定着し、夏秋期、帰省客と地域の交流の場所として地域に根強く定着し、地域が行う様々な事業にも地域出身者が参加する機会が多くなった。



(地域イベント夏祭り)



(伝統芸能、中学生)

### ●今後の課題及び取組

- (1) 地域と地域外(大学)の連携により、少し違った目線で、地域の基本構想や資源活用に活かして行きたい。
- (2) IT企業を誘致(サテライトオフィス)し自然の中のビジネスで心身を癒し、地域は、ITを活用し、全国に発信する。
- (3) 高齢者が増加する中、多くの生活支援が必要となり、ディサービス、ホームヘルパーだけの支援では対応できないのが現状で、地域サポーター(23人資格修了済)として取り組みたい。



(地域課題検討委員会)